臺灣日日新報
本日四頁

ビオスゼリー

我が海軍赫々の戰果

撃沈破敵潜艦九七隻

帝國海軍の活躍（開戰以來七月十日迄）

【東京發同盟】大本營發表（十九日午後四時三十分）帝國海軍の開戰以來七月十日までに撃沈破せる敵潜水艦累計左の如し

撃沈五十九隻、撃破三十八隻、合計九十七隻

敵のゲリラ戰望み薄

【東京發同盟】開戰以來赫々たる戰果に輝く帝國海軍が開戰以來七月十日までに敵米、英、蘭潜水艦に與へた戰果は撃沈破計九十七隻と十九日大本營から發表された、大東亞戰下の初の海の記念日を前に一段の光彩を加へた帝國海軍部隊は大東亞戰爭の緒戰においてウエーキ、ヒリッピン、グアム等の上陸作戰を阻止せんとした敵潜水艦を粉碎したのを始め [illegible] 五月二十日までに敵潜水艦撃沈五十、撃破二十九隻の戰果を擧げると共に我が航空部隊並に本土部隊は我が本土近海に出没する敵潜水艦を攻撃し五月下旬より六月上旬にかけては四隻を撃沈し更に開戰以來七月十日までに今回發表された如く九十七隻の敵潜水艦を撃沈破すると云ふ大戰果を擧げた、敵が斯かる大損害を受けたのは我が攻撃に水上艦艇は遁走し潜水艦 [illegible] れたため

皇軍 の上陸作戰阻止に潜水艦が [illegible] ため我が猛攻の前に犧牲となつたものが相當あつたためである、而して大東亞戰爭勃發前外國側の情報によれば米國の潜水艦勢力は大型四十隻（內約三十隻はマニラ方面にあり）中型四十隻、沿岸用五十隻計百三十隻で開戰以來二十隻乃至三十隻を新造したと見て約百六十隻が存在したのだが、この內には航行には耐え得ない老朽艦も含まれてゐるので全勢力は相當の割引を要するものがある、太平洋方面に出撃可能と思はれるものはこの內約七十隻位であらう、一方英國は香港、シンガポール十數隻を有しオランダはボルネオ方面に約二十隻の潜水艦を配備してゐたと見られるが今次の奇襲によりその東洋方面に [illegible] してゐた敵潜水艦は殆ど [illegible] 去られたことが想像される、斯くて米國が呼號した [illegible] 戰法も既に我が前に潰え去り [illegible] の一環洋上ゲリラの主 [illegible] 潜水艦も前記の如く撃滅され然も太平洋の兵站基地の殆ど全部が我が

手中 に入り僅にハワイが殘るばかりでは到底潜水艦のみで大洋を航行して來襲することは甚だ困難になる、然も潜水艦の乘組將兵は特殊訓練を經た優秀なものであり、これらが艦と共に海底に葬られたその損害はちよつと償ひ得まい。一人前の潜水艦乘組水兵になるには七、八年を要すると言はれる、米英は急スピードで潜水艦の建造をやつてゐるらしいが優秀な乘組將兵の補充はこれに伴ふものでない、一潜水艦の撃沈される毎にその志願者の激減する米國においては [illegible] 斯くて米英が企圖する洋上ゲリラ戰の企圖は潜水艦航空母艦の喪失により大幅に望み薄となりつつあるが [illegible] 敵潜水艦が近海に [illegible] する危險が全く消滅した譯でなく今後とも十分の警戒が必要であるのは言を俟たぬ所である

比島敗將ブレアトン 西亞米空軍司令官に

【リスボン十八日發同盟】カイロ來電、英西亞駐屯軍司令部十八日發表に依ればルイス・エッチ・ブレアトン少將は西亞米航空軍司令官に就任した

グレアトン少將は元フイリッピン空軍司令官であつたが日本軍のフイリッピン占領とともに印度に逃れ過去數ケ月間印度米空軍司令官の職にあつたものである

譽の陸軍輸送船員に

表彰狀、賞詞授與

三ヶ島、堀井、加藤各船長ら

【東京發同盟】偉大なる大東亞戰爭の陰に大陸軍輸送を敢行して目覺しい活躍をなした我の陸軍徵用船乘組員に對しこの程佐伯○○部隊長より表彰狀及び賞詞が授與された旨十九日陸軍省より發表され海の記念日の一頁を飾つた、大東亞戰下との初の記念日に輝く殊勳の海國男子の內表彰狀を授與されたのは陸軍輸送船○○丸船長三ヶ島十郎氏外乘組員一同及び陸軍輸送船○○丸船長堀井榮光氏外乘組員一同、賞詞を授與された者は陸軍輸送船○○丸船長加藤健造氏 [illegible]

表彰狀

陸軍輸送船○○丸船長 三ヶ島十郎外乘組員一同

右者昭和十六年七月陸軍輸送船として [illegible]

表彰狀

昭和十七年七月一日

○○部隊長 陸軍中將 佐伯文郎

陸軍輸送船○○丸船長 堀井榮光外乘組員一同

右者昭和十七年○月○日○○ [illegible]

賞詞

昭和十七年七月一日

○○部隊長 陸軍中將 佐伯文郎

陸軍輸送船○○丸船長 加藤健造

右者昭和十七年○月○日船團に [illegible]

昭和十七年七月九日

○○部隊長 陸軍中將 佐伯文郎

けふ海の記念日

平出海軍大佐放送

【東京發同盟】大本營海軍報道部課長平出英夫大佐は十九日午後七時半より「海洋精神とミツドウエー海戰」と題するラジオ放送を行つたが海の記念日を迎へるに當り洋の東西を問はず海を疎んじ忘れる國は滅び國民の海洋精神の振否は國運を左右するとて內外古今の例を引用して海洋精神を喚起した【寫眞は平出大佐】

海洋國家日本の歷史が海に始まり海によつて榮えたことは今更申すまでもない、神武天皇が九州美々津を船出し給うてより天皇の御船師は九州の北部より瀨戶內海を經て日向御發航より數年の後難波に [illegible] 大和に及びここに大和建國の大業を成就し給うたのである

天皇が國都を大和にお定めになつたことは一つには皇威の遍く四方に光被した證據であり一つには中國の繁榮發展に海洋を利用し給はんとの深慮なる

叡慮 に外ならなかつたと拜察されるのである。 [illegible]

史實 に徵するまでもなく明かなことである、

最近 における米英が [illegible]

海洋精神とミツドウエー海戰

スコールの彈幕潛り

一擧に敵艦隊を撃滅

[illegible]

運命 は [illegible]

解決 しない限り [illegible]

基礎 づける所の [illegible]

艦長 にして初めて出來る [illegible]

我方 の [illegible]

左舷 に [illegible]

誠忠 は萬古不易の [illegible]

激闘 の [illegible]

失敗 として [illegible]

ソ聯最大の危機

動脈、スターリングラード風前の燈火

【ベルリン十七日發同盟】現在はクールスクからハリコフに至る線から續々前進を續けてゐた獨軍はハリコフ方面からドネツ河に沿ひ南下中の有力部隊は十七日ドネツ工業地帶の中心地たるウラシーロフグラードに突入遂にこれを占領し同部隊は既にこれを突破しロストフ方面に向ひつつある [illegible]

ロストフに大攻防戰

【リスボン十八日發同盟】 [illegible]

リカヤ陷落寸前

【リスボン十八日發同盟】モスクワ來電によればミレロヴオを抜い [illegible]

チモシエンコ元帥更迭か

敗戰の責任で

【ベルリン十九日發同盟】 [illegible] チモシエンコ元帥は敗戰の責任を問はれて [illegible]

マン島の邦人英本土某地へ到着

【リスボン十八日發同盟】ロンドン來電に依れば大東亞戰爭以來マン島に抑留中の在英邦人二十七名は [illegible] 同島を出發英本土某港に到着、更に汽車で某地へ向け出發した

青海省の馬司令を開墾主任に任命

【上海十九日發同盟】重慶來電に依れば [illegible]

內山公使空路東上す

【サイゴン十九日發同盟】內山公使は [illegible] 十九日午前八時サイゴン發空路東上した

人事

▲淺川其二氏（拓務省技師）十八日來北（朝陽號）

▲吉田一郎氏（日本アルミ常務）二十日東部より來北（鐵道ホテル）

[illegible]

電氣材料ポケットブック B六判800頁 5.00 〒內地30.外地40

新編電氣工事教科書 A五判500頁 2.80 〒內地20.外地40

發行所 社團法人 電氣協會關東支部
東京市麴町區有樂町一丁目三番地（振替口座東京七五七三七番）

新偉人傳全集
既刊 ヒトラー
國聖日蓮
汪精衞
達人南洲
ビスマーク
岩崎彌太郎
新刊 山田長政と南進先驅者
新刊 漱石とその文學
新刊 聖德太子
八月 孔子と人と哲學
九月 時宗と秀吉

精神文化全集
戰爭文學傑作集
東京小石川小日向台町 振替東京一七四四三 潮文閣

細胞賦活
大阪帝大醱酵學教室で發見されたアスペルギルス NK菌に特許培養強力酵母を複合した錠劑わかもとの特徵は細胞賦活作用にあります…
これが爲に錠劑わかもとは、整腸や化學下劑、瀉止劑の對症的化學藥と異り、胃腸の組織細胞に活力を與へ自力的恢復に導く病源的治療が期待出來ます。

胃 下垂、胃アトニー、便秘、胃腸カタル等の慢性胃腸障碍に惱む方が本劑を服用されますと、病源の治癒に伴ひ消化不良、胸もたれ、腹鳴り等の諸症狀が止み便通整ひ、快適な食慾を喚起します。

一日 廿五日量 一円六十戔（地方により協定價あり）

胃腸・榮養・疲勞
錠劑 わかもと
東京 わかもと本舖

美容上の敵性 日増しに掃滅
つまり……にきび そばかす しみ取り
藥用クレーム ヤパンモア

貯蓄は銃後の彈丸なり
第一生命保險相互會社
東京市日比谷

社說 海洋國家と海洋民族
第二回『海の記念日』に際して

一

大東亞戰下、ここに第二回「海の記念日」を迎へたことは種々の意味に於て洵に意義深いものがある。由來、わが國は東洋に於ける唯一の海洋國を以つて自他共に任じてゐた。風光明媚、氣候溫順、四面環海、然かも――上 萬世一系の天皇を仰ぎ奉るわが國民が、海洋民族としての比類なき忠誠心と勇敢さと、そして冒險的精神を有 [illegible]

二

[illegible]

三

かく考へるとき、われらは [illegible] 日本たるを得ないであらう。

滿國への派遣代表
翼賛政治會で指名決定

【東京電話】 [illegible] 滿洲國派遣代表 [illegible]

貯金は貸出金凌駕
全島産組五月末の動き

[illegible]

大東亞戰爭と海運
郵船臺北支店長 中村三雄氏談

[illegible]

組合銀行勘定增加
六月末臺北手形交換實績

[illegible]

海は"日本の生命"
船舶運營會臺北支部長 山下正樹氏(寄)

英人の書籍に次の様な [illegible]

皇威は八紘に [illegible]

我日本帝國 [illegible]

海は日本の [illegible]

增産報國推進隊
"共同隊"の訓練を實施

[illegible]

大東亞建設へ臺灣の協力方策
東亞經濟懇談會 臺灣委員會(下)

設立趣旨 [illegible]

一、其の他前項の事業に附帶する事業

融和の中 [illegible]

非常に强い [illegible]

有力者の [illegible]

委員長は [illegible]

會を組織 [illegible]

銀行の預金と貸出
全島各州、廳別に見る

[illegible]

コプラの飼料價値
實驗結果は"優秀"の折紙

[illegible]

石鹸の配給機關
內地統制會社設立遲る

[illegible]

油脂統制會設立の動き

[illegible]

許汕頭市長 廣東へ榮轉

[illegible]

貸付利率引下實施

[illegible]

原料委員會

[illegible]

上海の銀行
八十五行に達す

[illegible]

生活社
ベーリング海の霧と人
マクス・ミラー著 山本政喜譯

東方紀行 [illegible]

ハリバ軟膏

肉芽と表皮を新生し短時日に治癒せしめる榮養軟膏。

五十瓦・一円

祝海の記念日

高雄州水產會

高雄港灣協會

日本アルミニウム株式會社 高雄工場

高雄地區港灣運送業會
臺灣運輸株式會社
株式會社日東商船組
臺灣倉庫株式會社
日本通運株式會社
昭和運送株式會社
株式會社國際運輸組

高雄商工會議所

三菱商事株式會社 高雄支店

三井物產株式會社 高雄支店

高雄州米穀納入組合

株式會社臺灣鐵工所

高雄信用組合

陳中和物產株式會社 高雄市三塊厝一〇六八

臺灣セメント株式會社 本店工場 高雄市田町三ノ五

高雄貿易振興會

吉井百貨店

高雄沖商組合

井上金喜商店

高雄州青果同業組合

小兒科 福井病院

行德眼科醫院

右田醫院

光井造船所

廣島造船所

荻原造船鐵工所

龜澤造船所

海洋へ母も一役よい指導

菊元 臺北市榮町 代表電話七三三三番

臺北市本町 福田吳服店

知れ海・行け海・護れ海

時計と眼鏡 臺北市榮町 鎌野時計舖 電話二六三七番

新藥賣藥の御用は 臺北市榮町四丁目 廣生堂藥舖 電話三九八一番

海の子に育てて殊勳・海の母

福福カゼ藥 福福腸妙散 福福乳劑 本舖 酵母劑パンドマン發賣元 臺北 南門藥局

藤井のロープ 職域奉公=在庫豊富 二分繩、三分繩、四分繩 五分繩、六分繩、七分繩 八分繩、外小包紐 豊富 此外御注文により迅速に責需に應じます 臺北市入船町一丁目 藤井製網營業所 從來ロープの價格は公價格なりましたから今般公價格發表になりましたから安全に取引が出來ます

進む船隊・興亞の先驅

臺北市榮町 松井吳服店

總ゆる新刊書籍を網羅して居ります…… 臺北市榮町一ノ二〇 新高堂書店 電話五三一〇番

けふ海の記念日

海洋 [illegible]

闘志、健康を與へる"海"
海上生活卅四年 山下一郎氏に聽く

[illegible]

日本語普及が先づ第一着手 木原陸軍司政長官神戸で語る

暑中御見舞申上マス 秋・冬物……新入荷

今日の映畫

新世界館 [illegible]

けふ海の記念日

海洋思想の昂揚へ

陸に、海に多彩な行事實施

一億〝海の子〟が統律日本を謳へる海の祭典――第二回「海の記念日」はけふ巡れた、太平洋の全水域に印度洋にはた又豪州海に帝國海軍の赫々たる戰果として輝き榮光の飛躍大東亞の黎明に映えるとき「海の記念日」を迎へたことは

國民 の感激一入深いものがある、我等は四面環海の島國に生れ、海によつて育まれた〝海の子〟だ、さあ、七ツの海に我々は進出せん、征かう千萬里の波濤を越えて日章旗をうち樹てるのだ、長谷川總督がけふの記念日を迎へて揮毫した〝開拓萬里波濤〟の六文字の意義を深くかみしめて……海國日本の將來は洋々たるものがあるのだ、かくてけふ二十日は全島各地で海に因んだ多彩な記念行事が行はれるが本島では基隆、高雄を中心に全島の水上、陸上に意義深い催しが行はれ「海」一色に塗られる、この日臺北では夜七時から市公會堂で臺灣海事協會臺北支部主催により

講演 と映畫の夕が開催、伊藤武官、山下船舶運營會支部長の講演が行はれる、また長谷川總督は同夜八時半臺北放送局から講演を行ひ畏くも 明治天皇が明治丸に御乘船燈臺巡視より横濱に還幸遊ばされたゆかりの日を卜し海洋思想鼓吹のため定められたけふの記念日を一段と意義あらしめる事となつてゐる

「七つの海」に日章旗を

記念日を迎へ佐々波遞信部長語る

大東亞戰の赫々たる勝利と共に海國日本は南へ北へと進展し愈々東はアメリカ西海岸から西は遠くアフリカ東海岸まで實に東西一萬海里北はアリユウシヤンより遙か赤道を越えて濠洲南部に至る

南北 五千浬、この廣大な水域を確保〝海の子〟日本男子の飛躍する海洋は限りなくいま二億國民の前に拓けつつある時、けふ二度び「海の記念日」を迎へその意義一入深きものがある、遞信部長佐々波外七氏はこの記念日を迎へるに當り海洋思想の普及徹底、海洋精神の鼓揚振起を強調左の如く語つた

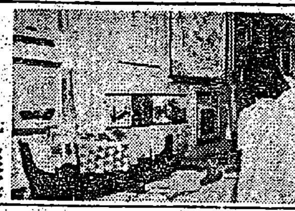
東條首相の言葉を借りるまでもなく我に日本時男の覺悟と用意がある、敵側の出方如何では〝海を制す〟

海國 日本の海軍は七ツの海は愚か地の涯、海の涯までで も限り無く拡げられて行くのである、帝國海軍は開戰以來七月十日までに敵艦三百六十六隻、百九十三萬五千噸を擊沈破した、旨十八日大本營から發表された、一萬噸の巨船を日に一隻づつ海底の藻屑と化して居る、この現實は我々に何を教へるか「海洋を制するものは世界を制す」を的確して言つては我もの顏に世界の海に君臨した英國を

沒落 の一途に追込み、米國をして世界から孤絶、大國を孤立化せんとしつつあることである、之に反し全世界のものは海洋の制覇者〝日本〟こそは今次世界大戰の勝利者たることを疑ひ得ないであらう、この勝利者たらんとする我等〝海の子〟は大は戰艦から小は機帆船を我等が家となし八紘爲宇の

聖戰 完遂に邁進せねばならぬのである「海に生き海に死ね」海國日本の前進記念日たる今日海の記念日に私は皆様國民に『征け、海は我等の行くところ』を敢へて力一ぱい提唱する次第である

船の展覽會 七つの海に雄飛を競ふ〝海の記念日〟を飾るに相應しい〝船の展覽會〟が十九日から總督府海務課、博物館共同主催の下に博物館で開催されてゐる、會場は總て船に因んだものばかりで色とりどりの催物が捧げられた會場正面には長谷川總督揮毫の〝開拓萬里波濤〟の扁額が掲げられ、珍奇な船の模型や、掛物、繪畫が夫々分類して飾られ、中でも臺大總長生徒會の〝古今船型展〟一九三枚は人氣の中心を占め又國民學校兒童の船の模型にも素晴しいものがあり、海洋協會隊員その他一般市民の來觀で賑はつてゐる、尚同展は三十一日迄である（寫眞は同展會場）



由緒深き『明治丸』

「海の記念日」は明治九年七月二十日畏くも 明治天皇が明治丸に御乘船燈臺巡視から横濱に還幸遊ばされたゆかりの日を卜し海洋思想を鼓吹するため昨年から設けられた記念日である當時の御乘船明治丸はスクーナ型汽船總噸數千廿七噸の官廳燈臺巡視船であつたが明治廿九年練習船として商船學校に讓渡され、校內船渠に移され永く教育の核心ともなつてゐた、船內の御座所は 明治天皇御乘船當時の儘にしてその麗容は往時の狀は仰ぐも畏く大正十二年九月の大震災に際しては越中島の商船學校校舍は悉く烏有に歸したが明治丸は數千の避難民を收容したのみならず職員の必死の努力に依つて幸ひに燒失の難を免れたものといはれる（寫眞は由緒深き御乘船明治丸）

〝海の記念日〟座談會㈡

閑却された船員慰安

戰時船員の苦心は並大抵でない

湯香 商船の重要性は只今御話さんから色々と承りましたが、私それに關聯して船員の重要性に就いて一應御話し申したいと思ひます、船の

重要性 に就して先程司令者の方のおつしやつた如く大分認識を深めて船の重要性を認めて來た様であります、ただ私共船乘りの一人として申し上げたい事は船の必要と同時に人の必要を說くと言ふ事がまた船の重要性を說くに比べましてやや薄らいで居る様な感じがあるのでは無いかと思ひます、船を運行すべき人の重要性も同時に強調に叫んで頂きたい、支那事變に亙いで大東亞戰爭に於いて各要衝の地が確保された事は皇軍將兵の勇猛果敢なる御奮戰の結果に他ならないと云ふ事に之は今更申し上げるまでも無い事であります、而して各要衝を攻略し占領するには其れには所謂陸兵の方で申せば上陸作戰と云ふ最も難い作戰が行はれて居るのであります、此處に至る迄は船を其處に持つて行く事は全く船員の立派なるさうして不撓な努力に俟つことが多大であります、此點は決して我々の

見逃す 事の出來ない點と思ひます、上陸作戰が行はれるに就きましては先づ申す迄も無く相當の兵員の輸送と云ふ事が此作戰に並行して行はれると思ふのであります、從つて輸送船に兵員を載せて或る陸地點に向ふのですが英米蘭の空力の逃ふ、大きさの違ふ色々の條件に於いて異なつて居る船が一糸亂れざる行動をする事は勿論護衛の指揮官に從つて運行して居る事でありませうが、皆悉の戰闘として所謂船員が一糸亂れざる行動をするには言ふ可からざる苦心があるのであります、殊に身に寸鐵を帶びず防禦の装置なき一商船が敵前上陸地點の最も近い所に夜間何等の燈火も無く先導も無く、其の間上陸に最も便宜な地點を選んで船を持つて行く處は全く陸上人の想像出來ない

苦心が 存在するのであり、即ち之は船の乘組員たる船員の苦心であります、其の苦心は全く我我は非常な危險を冒して[illegible]たいと思ふのであります、船員が上陸作戰に行動して行く處には彈丸雨飛の中で裸一貫で作戰に並行して行動して居ります、或は兵員馬匹を載せて連れて行くと言ふ事も多く兵と同じ様な行動をして居るのであります、船舶に兵を載せて運び移り本船に歸れば所謂兵器軍馬其の他の荷物の陸揚に全身の力を注いで再び次の行動に支障なからしめん様にするのであります、それから船員の活躍に就して

感狀と なり、遞信大臣の感狀を頂いた[illegible]

[illegible]

向上さ れた事が船員である

[illegible]

出席者

白水	[illegible]
立川	[illegible]
栗田	[illegible]
大澤	[illegible]
山下	[illegible]
眞鍋	[illegible]
石垣	[illegible]
酒井	[illegible]
辻本	[illegible]
武山	[illegible]
村上	[illegible]
倉知	[illegible]
折田	[illegible]

闘志、健康を與へる〝海〟

海上生活卅四年 山下一郎氏に聽く

【基隆電話】五十年と言ふ歳月は歷史の動きさへも左右する、それは決して短い歳月ではない、その長い歳月を

親子 二代にわたつて海から海へ、小漁船に生命を託して魚の群を追つて大洋を渡り歩いた勇敢な〝海の手〟山下一郎氏に生きた海の話を聞く、氏は明治二十八年領臺當初渡臺した嚴父宇吉氏時代より約五十年にわたつて住みなれた基隆市入船町一ノ六一を唯一の安住所として、今もなほ〝海の生活〟を續けてゐる、氏が海の民として嚴父宇吉氏に從つて大洋に乘り出したのは十五歲の時からで今日までの海上生活は三十四年の長きにわたつてをり、嚴父宇吉氏の時代を通じて親子二代の海の生活實に五十年以上になると言ふ眞の海の民、海に生きる人々である、壯年時代〝相川〟と言ふ角力名をもつて素人角力の一方の大將であつたと言ふ氏は、今年四十九、

頭髮 にちらほらと白いものが混るとは言へ、昔取つた大きな體の若い年寄[illegible]

〝海は人間に健康と、逞しい闘志とを與へて呉れますよ、全く海はいいですよ〟と語り出すのである（寫眞は語る山下一郎氏）

〝海〟と一口に言へば、簡單なものですが、あの限い海を一口でどんなものだと言ふ事は誰にも出來ますまい、然し海は第一に人間を健康にすると言ふ事、第二に荒波を乘り切る精神は、人間に負けじ魂を培つて呉れると言ふ事、第三にあの青い海原は、人間をあらゆる小さな感情から解放して、明々とした明朗性を持たせるものであると言ふ事は言へます、それは兎に角私の三十四年からなる海上生活の經驗から申し上げるのですが私ども小さな漁船に乘つて沖で魚を釣つてゐる者で、今まで肺とか肋膜とか言ふやうな

病氣 で死んだ者は一人もありません、私も仕事に出たら隨分無理もしますが、これで却て元氣です

荒波 との闘ひこそ、[illegible]

感情 もあの限い青い海原の彼方へ消へてしまひ、晴れ晴れとした氣持になります

南濱に武勳建てた

譽れの州隊旗返納

きのふ・勞務奉公團臺北州隊解隊

數々の武勳を輝かし、天晴れ皇國男子の名聲を南濱の地に轟かした其の名も高き第二回勞務奉公團臺北州隊は隊長・野村利男氏に引率され十八日午前六時四十五分着列車にて

臺北 へ晴れの歸還をなした、赤道やけした顏、戰闘に色あせた隊服に幾多の武勳と勞苦を秘めて直隊列車から下りた隊員は武勳もほこらず晴れの出迎への人人や家族と懷しい感激の對面を遂げ〝御苦勞さんでした〟〝よくやつて下さつた〟と晴頭をどよます感謝の言葉と萬歲の歡呼を受けて

八時隊旗を先頭に步武堂々と臺灣神社に參拜、神前に額づいて晴りなき武運を感謝し、けふの歸還を奉告したのち再び龍山國民學校に引き返し十時から解隊式が行はれた、國民儀禮ののち野村隊長より梁井知事に歸還申告をなし盛れの隊旗を返納すれば梁井知事は八ケ月間に亘る勞務奉公を果して無事歸還した事に對し州民一同に代つて

歸還 の喜びを申上げると共に長期の勞苦に對しお禮の言葉を申上げる

[illegible]

（寫眞上臺灣神社に參拜下解隊式）

衣服の縫ひに奉仕

麗し・內湖女子青年團員の心根

[illegible]

衣服 のつくろひに一役を買つて出たもので[illegible]

日本語普及が先づ第一着手

木原陸軍司政長官神戸で語る

[illegible]

缺陷ある皮膚病に カミックス

蘭陽地方 暴風雨罹災者救濟義捐金募集

七月十一日本島を襲つた暴風雨は臺北州蘭陽三郡下が最も災害甚大にして殊に蘇澳、羅東兩郡下は家屋は殆んど全壞又は大破し死傷者亦多數を出し罹災民の窮狀眞に同情に堪へざるものがあります。茲に於て此の稀有の慘禍たる罹災民に對し本島に於ても廣く江湖の同情に愬へ罹災民救濟の義捐金を募集することとし有志各位の熱意ある應募を希望する次第であります。

募集要項

一、義捐金は一口金五十錢以上とす

一、義捐金は紙上掲載を以て領收證に代ふ

一、義捐金の受付は島內五日刊新聞社の本社及支局で取扱ふ

一、締切期日は昭和十七年八月末日とす

一、義捐金處分に就ては臺灣總督府に一任す

一、物品の寄附は一切取扱はず

昭和十七年七月二十日

臺灣日報社

臺灣新聞社

東臺灣新報社

興南新聞社

臺灣日日新報社

國民防諜週間閉幕

忘るな不斷の防諜

週間中の緊張味を持續せよ

基隆 七月の五都で[illegible]

防諜はこれからだ

根井臺北州警察部長談

[illegible]

尺八

大日本尺八報國會

暑中御見舞申上マス

秋・冬物……新入荷

臺北市末廣町一丁目

丸吉呉服店

電話 七七一五番

輕い一口、秘密の出口

耳 エンコマク

エンソチ商會

明るい印刷 精美堂

長澤耳鼻咽喉科醫院

臺灣肛門病院

祝海の記念日

臺灣興行統制會社

日本通運株式會社 臺灣支社

臺灣倉庫株式會社

臺灣運輸株式會社 臺北支店

臺北合同運送株式會社

株式會社日進商會

臺北南旅館組合

今日の映畫

新世界館

大世界館

國際館

芳乃館

日本ニュース

當籤債券廣告

日本勸業銀行

特設勞務奉公隊員奮戰記

征戰に參加の光榮

空襲警報下〝我が艨艟大海を壓す〟

奇襲・無血敵前上陸成功

第二次臺灣特設勞務奉公隊は〝花なき兵隊〟の譽れも高くバタアンの激戰地をはじめ比島各地の戰場で皇軍將士の手足となつて奮戰、陣歿者、血みどろの戰ひをつづけ、或るものは榮譽の戰死を遂げた者もある、いまこの生死の境地を突破し數々の勳を土産に懷しの臺灣に歸つた隊員の胸中如何ばかり感慨深いものがあらう、以下は臺北州隊員上野利男氏が血と汗で綴つた正にこれより約八ケ月間の〝いつはらぬ體驗手記〟である、そこには嚴しい戰場に依つて皇國民としての己をはつきりと認識した隊員の激しい祖國の熱情や〝大君の邊にこそ死なめ〟の感激が一人々々の胸中に盛り上つた熱意の一つ一つをはつきりと知ることが出來る（寫眞は上野利男隊員）

[illegible]

島影深く　[illegible]

（寫眞は隊員が[illegible]）

爆擊下に作業續く

敵潛艦から不發の魚雷

悲しい想出　陳桂林君の戰死

兵器彈藥器　[illegible]

結局十人　[illegible]

元氣よく　[illegible]

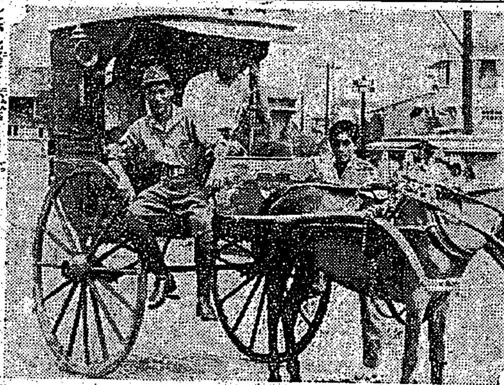
空襲警報　[illegible]

兵隊さん　[illegible]

堅や椿子　[illegible]

上陸準備　[illegible]

白砂の濱　[illegible]



（寫眞はカヌマタに乘りマニラ市内を見學）

第二小隊　[illegible]

奉公隊の　[illegible]

竹槍を片手に待機

無念！遂に突擊の機を逸す

部隊長に　[illegible]

最後まで　[illegible]

作業が一　[illegible]

波打際に　[illegible]

美しい晩　[illegible]

上陸の日　[illegible]

（寫眞は比島の女兒達と奉公隊員の一人）

例へ身に　[illegible]

犬の啼聲　[illegible]

眼を閉ぢ　[illegible]

奉公隊の使命完遂

〝慰勞の言葉〟に疲勞消ゆ

隊員等は　[illegible]

糧秣輸送　[illegible]

歸還命令に接す

比島人に再生の日來る

隊員の兩親に望む〝奉公への心〟

よき兄弟　[illegible]

日本人に　[illegible]

血の出る　[illegible]

元氣で歸還

新竹州　【新竹電話】第二回特設勞務奉公隊新竹州隊は十九日午前四時四十一分新竹驛着列車で[illegible]

臺南州　【臺南電話】第二回臺南特設勞務奉公隊として〇〇[illegible]

日本的な　[illegible]

愛の赤道（128）

竹田敏彦
都竹伸一畫

偽装の父（三）

[illegible]

日本放送協會編　A5判二五六頁　價一圓八十錢　送二十錢

文部省　中學校・高等女學校數學及理科教授要目解說要項とその趣旨

東北の民謠第一篇岩手縣の卷　價二十圓　送三十錢

仙臺中央放送局監修　武田忠一郎著　B5判　定價二〇〇

東京・芝區田村町　振替東京四九七〇一　日本放送出版協會

昭和十八年度用

工業教育　財團法人國民工業學院

技能者養成用
私立青年學校用
工場・鑛山用
教科書

一般藥品
臺北市新起町一
ヒラノ藥局
電話三五・三六八・四三六番

臺灣特產　サンゴ
岩田サンゴ店　臺北市榮町　電話四六八九番
以文堂サンゴ店　臺北市京町　電話二〇九八番

一般藥品並化粧品
臺北市建成町三
東京堂藥局
電六四〇五〇番

市營休憩所　基隆海水浴場　食堂
和洋食・寿司　公會堂食堂　經營者　竹下　長三

基隆海水浴場　東洋一の設備　快樂園　基隆濱砂町

キネマ改メ　富士　社交場
高雄市　電話

映畫常設　昭和館　高雄市入船町四丁目

高雄市鹽埕町五丁目　吾妻旅館

映畫常設　金鵄館　高雄市榮町一ノ四

高雄劇場株式會社　高雄館

海の記念日

日本水產株式會社　臺灣營業所
臺灣船渠株式會社　基隆市社寮町二四三番地　電話（長）一〇四
臺灣手小荷物運輸株式會社　基隆市明治町一丁目五番地
日本郵船株式會社　臺北支店
臺灣造船資材株式會社　基隆市日新町二丁目十三番地ノ一　電話長一四九八番
基隆水產株式會社
臺陽汽船商事株式會社
丸一組
泰記汽船株式會社
臺灣產業株式會社
東部水產株式會社
梶川廻漕店
木村龜吉
筒井清風
飛田商會
內外運輸株式會社
基隆港水先人組合
日本海運報國團基隆支所
飯田商司
角谷船具店
土屋商店
宮崎晉次郎
高雄地區青果物配給組合
興南青果公司
基隆地區港灣海運協會
基隆通關株式會社
日本通運株式會社　基隆支店
梅野醫院